

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	クラウドファンディングを活用した資金供給
取組み内容	【顧客の概要】 ・ A 社（菓子・パン小売業） 【内容】 A 社が新事業として取組んでいる「ジュース」の製造拡大に伴い資金調達手段として、近畿大阪銀行と業務提携関係にある B 社が取り扱う「クラウドファンディングを活用した資金供給」を紹介した。 A 社は検討の末、クラウドファンディングを活用した資金供給を採用する事となり、B 社と契約を交わし「ジュース」の製造拡大資金を調達する事となる。 その後、A 社は製造拡大に向け設備を整える中、新たに有名百貨店への出店、鉄道駅構内の商業施設への出店、また「食の展示会」に出展した事で「ジュース」に多くの引き合いを受ける等、販路拡大に成功して行く。 以上

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	事業承継を見据えた創業時株主からの自社株買戻し事例
取組み内容	【顧客の概要】 ・ A社（外壁工事業）、社長（父）、後継者（長女夫婦） 【経緯】 ・ 長女夫婦への事業承継に向け社内体制を整備中 ・ 株主構成の見直しを模索 【コンサルティング内容】 ・ 社長以外の株主は、同社の創業時に社長の人的つながりにより出資協力していただいた株主であった ・ 後継者である長女夫婦への事業承継を検討する上で、将来の安定した経営体制にむけた株主構成の見直しが必要との認識で一致 ・ 社長には創業時株主との自社株買戻し交渉を行っていただく ・ 自社株買戻しスキームとして、社長および長女夫婦等の出資による新設会社にて自社株買戻しをご提案 ・ 新設会社への自社株買戻し資金のご融資で支援 【お取引先における効果】 ・ 長女夫婦による安定した経営に向けた株主構成の見直しに成功 ・ 創業時株主に対しても自社株のキャピタルゲインを還元し円満解決 以上

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	「地域創業促進支援事業」を活用した創業スクール開講による創業支援
取組み内容	・国の「地域創業促進支援事業」に基いて、関西唯一の金融機関として八尾市にて創業スクールを開催 ・計8回、総時間31時間の講座で、31名が受講(内6名起業、6名起業準備中) ・内容はビジネスプランの作成・ブラッシュアップから、税務法務、会計の基礎知識等、創業に係る項目をほぼすべて網羅している。また、創業者の生の声も聴けるなど、創業者の立場に立ったスクール内容で構成。 ・受講者からも好評であり、中小機構のHPでも事例に取り上げられた。

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	「外部機関活用による取引先企業の技術評価を実施し、事業継続性を含めた抜本的再生に繋げている事例」
取組み内容	《動機（きっかけ）》 ・当社圧倒的メインの製造業。 ・当社主導で再生に向けた支援を実施していたが、他社への継承（M&A を含む）も検討。 ・非財務情報として、同社保有の特殊技術等の第三者による可視化の必要性あり。 ・「一般社団法人 知財経営ネットワーク（以下 IPN という）」に紹介し技術評価実施。 《取組内容》 ・当社より、外部機関である IPN を紹介。既存事業については「技術評価書」、新規（再開）事業については「技術市場評価書」実施。 ・革新的な同社技術力は、特許を取得していないものの、特許と同程度の技術レベルに達しており、大学や公設試等との連携等ソリューション案が見つかった。 ・当社としても、再生支援方針を継続し、抜本的な再生を図るべく地域経済活性化支援機構（以下 REVIC という）に相談し関与が決定。 ・技術評価書は、M&A に活用可能となり、既に上場企業の 1 社が検討を開始し、REVIC においてもスポンサー候補選定作業に入っている。 ・REVIC を通じて M&A を実施する目的で、対象企業と候補の上場企業 1 社との面談が終了。今後この上場企業と具体的に DD を進めていくが、技術力に関する協議は「技術評価書」を用いて実施する予定である。 《効果》 同社の成果（効果） ・非財務情報である企業固有の技術力の可視化が実現。 ・自社の技術水準を把握し、経営計画等への策定への活用が可能となった。 ・雇用の維持が図れ、特殊技能の伝承が可能となった。

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	金融経済教育（りそなキッズマネー）への取組み
取組み内容	 毎年夏休み期間を中心に、子ども向け金融経済教育「りそなキッズマネーアカデミー」を開催しています。クイズやゲームを通して、銀行の役割や社会の中でのお金の流れを学んでいただいています。近年、地域の企業・団体とのコラボレーション企画も多数開催しております。 <写真は高槻警察署との合同企画>

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	金融経済教育（職場体験、出張授業）への取り組み
取り組み内容	地元の小・中学生を対象に職場体験・出張授業を行っています。 営業店では銀行の役割や仕事についての勉強だけでなく、模擬紙幣を用いて札勘の練習をしたり、実際にロビーに立ってお客さまへの挨拶や接客等も行っています。 出張授業ではクイズやグループワークを中心に、お金の大切さについて学んでいただいています。 <写真は中学生対象の出張授業の様子>

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	エコノミクス甲子園地方大会事務局としての取り組み
取り組み内容	 日本の社会構造の変化に伴い、社会に羽ばたく高校生たちへの金融知力の普及がますます必要とされているなかで、高校生に金融経済を楽しみながら学んでもらうこと、テクニックではなく実生活に生かせる金融経済知識を基礎から学んでもらうことを目的として、2006 年度より NPO 法人金融知力普及協会と金融経済クイズ選手権を開催し、大阪大会の事務局として取り組んでいます。

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	近畿大阪銀行の森づくり（交野市）等で環境保全への取り組み
取り組み内容	「近畿大阪銀行の森づくり」は、大阪府のアドプトフォレスト制度（大阪府・交野市・森林所有者と協定を結び、森づくりに参画するための制度）を利用して、2010年11月より、当社の10周年記念事業の一環としてスタートし、現在、春と秋の年2回実施しています。 2016年6月は計81名が参加し、カエデ・ツツジの植樹・テーブルのペンキ塗り、階段整備やゴミ拾いなどを行いました。

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	大阪府との「高齢者にやさしい地域づくり推進協定」の締結
取組み内容	協定は大阪府下での急速な高齢化や認知症高齢者の増加を受け、徘徊などで行方不明になった認知症高齢者の早期発見・保護、見守りに関し、大阪府内にあるりそなグループの営業店が協力するものです。 本協定により高齢者やそのご家族が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりに貢献していきます。 <u>「徘徊・見守り SOS ネットワーク」に参画し、行方不明者の情報を素早く共有</u> 認知症などにより行方不明になった高齢者の情報を関係機関に展開する「徘徊・見守り SOS ネットワーク」に加入し、大阪府下約 200 店舗のネットワークを活かした情報連携により、行方不明高齢者の早期発見に協力します。 <u>認知症に対する正しい知識の普及・啓発活動</u> りそなグループの全社員が受講している認知症サポーター養成講座を今後も継続的に実施。認知症特有の症状や対応方法などを正しく理解し、認知症の方やそのご家族をあたたくサポートします。 <u>店舗の窓口や訪問先での見守りを強化</u> 店舗の窓口での振り込め詐欺被害の防止や渉外担当者による訪問先での安否確認などに努めます。

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	関西フィルハーモニー ファンドレイジングによるチャリティコンサート
取組み内容	 関西フィルハーモニー管弦楽団との共同コンサートを 2011 年から毎年開催しています。この取組みは、通常大口スポンサーになれない中小企業、個人の取引先に働きかけ、文化支援事業の「場」を提供する方式《ファンドレイジング方式》により、地元文化を育成する仕組みを作り、多くの皆さまが音楽に触れる機会を提供しております。第 7 回目となる前回は、大阪府立豊中高等学校の吹奏楽部と関西フィルハーモニーとのコラボレーション演奏が実現しました。

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	小児がん等の医療ケアを支援するチャリティウォークへの参加
取組み内容	  小児がんの医療ケアを行う「チャイルド・ケモ・クリニック」の基金団体である「公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金」が主催のチャリティーウォークイベントに参加しました。イベント全体では 850 名参加し（当社社員 97 名）、チャリティーT シャツを着用し、三宮や元町中華街の名所約 5.5 キロを歩きました。